

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 ( 株式会社日翔通商 )

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目													
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			就業規則対応済み					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本(必須)			就業規則対応済み					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			就業規則対応済み							8.5 8.8							
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			就業規則対応済み					4.4		8.7 8.8	10.2 10.3						
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			社内安全委員会の設置			3				8							
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			ヘルスケア・予防接種・健康診断プログラムなどを提供する		3												
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			女性専用のトイレを完備し積極的に雇用を進める			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3								
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			安全に対する教育を毎月実施し、社員のスキルアップや免許取得や必要な資格には助成を行っている			4	5.5		8 9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			公正な賃金規定を定めている				5.5		8.5	10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			禁煙を促しますが、喫煙者には電子タバコを購入している		3				8								
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			法令に基づいて適正に処理を行っている 専門業者に委託しマニュフェストも発行してもらっている										11.6	12		14.1	
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			燃費から排出ガスを管理している					7.3								13	
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本(必須)			毎月の使用量を管理している				7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本(必須)	【非該当】		弊社では有害化学物質を使用していない			3.9		6.3			11.6	12.4					

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			排出ガス、振動、騒音、アイドリングストップに取り組んでいるまた、洗車場に浄化水槽があり専門業者に委託しマニュフェストも発行してもらっている							6.6								15				
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本(必須)			コピー用紙裏紙を使用ごみの分別を実施している													13	14.1					
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			水道代金を把握し節水に取り組む						6.4 6.6													
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ(任意)	【非該当】		今後視野に入れていくか検討する			3.9			6	7						12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ(任意)			SNSを通して環境への取組を周知する														12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ(任意)		【予定】	今後太陽光発電の活用を検討する							7.2							13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ(任意)	【非該当】		弊社に該当する天然資源がない													12.2	13	14	15			
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			就業規則の通り																	16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			就業規則の通り																	16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			鍵のかかるキャビネットへの管理 マイナンバーの安全な管理							8.2 8.3	9											
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			鍵のかかるキャビネットへの管理 マイナンバーの安全な管理																	16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ(任意)	【非該当】		弊社では取扱いなし																	16		
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			必要に応じて取り組む				5			8	10		12	13	14	15	16	17				
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: <a href="https://www.biz-partnership.jp/">https://www.biz-partnership.jp/</a>	基本(必須)		【予定】	今後検討する			3					8	9	10							17		

項目番号	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合選択入力	【予定】の場合選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																			
						1 1.1 貧困	2 2.2 飢餓	3 3.3 健康・ 医療	4 4.4 教育	5 5.5 職業・ 経済成長	6 6.6 エネルギー・ 気候変化	7 7.7 産業・ インフラ	8 8.8 産業・ インフラ	9 9.9 産業・ インフラ	10 10.10 産業・ インフラ	11 11.11 産業・ インフラ	12 12.12 産業・ インフラ	13 13.13 産業・ インフラ	14 14.14 産業・ インフラ	15 15.15 産業・ インフラ	16 16.16 産業・ インフラ	17 17.17 産業・ インフラ			
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本(必須)		Gマークを継続															12.4					
30			基本(必須)		Gマークを継続														9						
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ(任意)	【予定】	今後環境に配慮した設備を検討する															12	13	14	15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ(任意)			冷凍・冷蔵を活用したサービスの取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
33	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本(必須)		近隣住民の生活に配慮したアイドリングストップ														9	11	12	14	15	17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ(任意)		ライオンズクラブや青年会議所・商工会議所に入会し社会貢献活動をしている														11		14	15	17		
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ(任意)		地域の共同事業の検討														8	9	11	12	13		
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本(必須)			社内・管理職で共有している														8	9				17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本(必須)			コンプライアンスに関する通知を社内掲示している																			16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本(必須)			担当役員が責任を持って対応する																			16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本(必須)			取引先と対話をし課題解決や提案している																			16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ(任意)			運輸安全マネジメントに基づく安全性を策定する																			16	
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいます	チャレンジ(任意)			Gマークを継続																				16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ(任意)	【予定】	今後計画策定を検討する															9	11	13	13.1		16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ(任意)			外部人材からの意見や助言を取り入れる														8	9					17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定